



# 「骨寺通信」

発行：本寺地区地域づくり推進協議会

岩手県一関市厳美町字若神子241-2 骨寺村荘園交流館内  
TEL&FAX 0191(33)5022

第58号



# 収穫祭

逆もまた然り・・・  
たちの笑顔がお客さんを元気にして、  
肌寒い日に、心温まる素敵な一日となりました。

# 収

骨寺村の秋の味覚を沢山の方々に堪能してもらおうと、今年で2回目となる「骨寺村荘園 収穫祭」が、28日(日)若神子亭を会場に開催されました。朝から雨模様のあいにくの天候となりましたが、それでも、午前10時のスタートから、地域内外からのお客さんに、大勢来場していただきました。  
11時のもち振る舞いの前に行われた餅つきや、その後に振る舞われた「芋の子汁」には順番待ちの列ができ、あったかい食べ物で心も体もほっかばかに♪  
さらに、お昼時間のアトラクションには厳美小学校ブラスバンドが登場し、リズムカルで迫力ある演奏を披露。詰めかけたギャラリイからは拍手喝采が送られ、アンコールまで飛び出すほどの盛り上がり♪

もちろん、館内外では骨寺村産の荘園米や南部一郎かぼちゃの試食コーナーや、新鮮な野菜、今年の新米などを格安販売。買い求めるお客さんで終日賑わいました。  
笑顔はみんなを元気にします。もてなす側の会員さんたちの笑顔がお客さんを元気にして、逆もまた然り・・・

# 紅葉シーズン真っ只中



今年の紅葉は例年より10日くらい遅く  
骨寺の辺りの木々が色づき始めたのは10月の最後の週に入ってからでした  
そのおかげで・・・  
11月5日に真湯ゲートが閉鎖されるのを間近に控えてなお  
骨寺はまさに今紅葉真っ盛り  
朝晩の冷え込みと澄んだ空気が織り成す  
極彩色の自然絵巻  
間もなく訪れる厳しい冬の前に  
東の間の心休まるひと時を・・・



# 駒形根神社秋の例祭

須川おろしの時雨が舞う10月31日(水)、駒形根神社の秋の例祭が、同神社境内にて行われました。  
午前は宮司さんによる神事が厳かに執り行われ、お昼時間を挟んだ午後には、達古袋神楽の皆さんによる神楽の奉納が神楽殿にて行われました。演目は、「若戸開き」「屋島」「安宅の関」の三本。会場には、地元の氏子さんのみならず記者や遠方より見に来て下さった方など30名を超す観客が集まり、太鼓がリズムを刻み朗々たる声の流れると、胸踊らせながら、舞台上の神話、あるいは歴史の世界に引き込まれて行きました。  
風に乗る、その音は骨寺内に響き渡り、秋の風物詩として、今年も人々の胸に記憶として残ったことでしょう。  
達古袋神楽、素晴らしい演舞でした。



# 南部一郎かぼちゃの出荷が最盛期

本寺地区特産の鶴首日本カボチャ「南部一郎」が、出荷の最盛期を迎えています。  
ラジオやテレビ・雑誌等で取り上げられる機会が増えたこともあり、年々遠方からの注文も増えるなど、そのニーズは拡大しています。それに呼応して、カボチャ研究会の方でも生産量の増加を図るなど、多方面への更なる供給を目指しています。  
より多くの方々に、「マンゴー並みの糖度」を誇る本寺自慢のカボチャを味わって頂きたいと思えます



## もちサミット 1千食完売

第1回「中東北ご当地もちサミット」に若神子亭も出店。  
10月20・21の両日、Uドーム敷地内の会場には16の団体が一堂に会し、それぞれ工夫を凝らしたもち料理を販売。購入者が投票する形で競い合いました。  
若神子亭は、『骨寺村荘園3色もちセット』(南部一郎かぼちゃ、じゅうね、ねぎ)で参戦。惜しくも5位以内の入賞には届きませんでしたが、二日間準備した約1000食のパックを見事売切りました。お客さんからの反応も上々で、荘園米、南部一郎かぼちゃの販売時期に合わせて、良いピーアールにもなりました。  
売り子のみなさん、お疲れさまでした。

# 若神子亭に新製品登場

若神子亭に、この秋から、南部一郎かぼちゃを使用した新製品マドレーヌが登場し、好評をいただいています。  
南部一郎かぼちゃの最大の特徴でもある「甘み」を活かしたこの新製品は、築館にある「喜久乃家」さんの全面的協力のもとに開発された自慢の逸品です。  
販売はもちろん、レストランにおいてもコーヒー等とのセットで召し上がれますので、ぜひお試しください。



# 秋の土水路整備作業が17日(土)行われます